

令和元年度
(2019 年度)

保健所の取り組み実績

<部の構成>

保健医療課、保健衛生課、保健予防課

1. 重点施策・事業

(1) 食中毒など健康危機事象発生の未然防止

方向性	安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や理美容所などの生活衛生施設における衛生水準の向上を図り、健康危機事象発生 of 未然防止をめざします。
取り組み	平成 30 年度に改正旅館業法が施行され、また、令和元年度 (2019 年度) より改正食品衛生法が順次施行される中、HACCP (ハサップ) による食品衛生管理の手法等、新たな衛生基準を普及・啓発し、食中毒などの健康危機事象発生 of 未然防止に努めます。 《目標値》 生活衛生に係る健康危機事象発生件数：0 件(1 件) ※ () 内は平成 30 年度実績。 平成 31 年度当初予算：15,204 千円
実績	食品等事業者に対して業種別講習会、窓口、およびホームページ等にて HACCP に沿った衛生管理の手法について普及・啓発し導入を推奨しました。また改正法の施行に合わせて関係条例等の改正を行いました。今後も国等が行う説明会や府域自治体で組織するワーキンググループに参加し、衛生管理計画作成を指導するための専門知識を習得するとともに新基準の指導・啓発内容の検討を進めます。 《実績値》 生活衛生に係る健康危機事象発生件数：2 件 令和元年度決算：10,184 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(2) 自殺予防対策の推進

方向性	誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して生きることができるように、社会全体で生きることの包括的な支援を行い、市民一人ひとりが心身ともに健やかに暮らせる「ひらかた」を目指します。
-----	---

<p>取り組み</p>	<p>平成 31 年 3 月に策定した「枚方市いのち支える行動計画（自殺対策計画・令和元年度（2019 年度）から令和 5 年度（2023 年度）」に基づき、あらゆる場面において、自殺の危険を示すサインを見逃さず、適切な対応を果たすゲートキーパーを養成するため、従来から実施している市民向けの研修に加えて、職員向けの研修を実施し、自殺予防の役割を担う人材のさらなる養成に取り組みます。また、児童・生徒への支援の 1 つとして「子どもの SOS 出し方教育」の実施に向けた体制整備を図ります。</p> <p>《目標値》（令和 5 年度（2023 年度）までに達成）</p> <p>ゲートキーパー養成研修受講者が所属する課（庁内）の割合：100%</p> <p>ゲートキーパー養成研修受講後「理解できた」と回答する者の割合：70%以上</p> <p>※平成 31 年度からの新たな取り組みのため平成 30 年度実績はなし</p> <p>平成 31 年度当初予算：4,533 千円</p>
<p>実績</p>	<p>8 月 2 日（金）に職員向けゲートキーパー養成研修を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加した市職員数：135 名 ・ゲートキーパー養成研修受講者が所属する課（庁内）の割合：89.91% <p>市職員に対して、ゲートキーパーや自殺対策について知り、考えてもらう機会となりました。</p> <p>令和 2 年 3 月には、市民向けのゲートキーパー養成研修を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。</p> <p>また、「子どもの SOS 出し方教育」については、次年度以降の実施に向け、保健予防課と教育委員会 教育指導課で具体的な実施方法などについて協議を進めました。しかし、年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度における教職員向けの研修の実施は困難な状況となっています。</p> <p>令和元年度決算：3,167 千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>	

2. 行政改革・業務改善

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
<p>収容動物譲渡対象者の拡大</p>	<p>収容した犬及び猫の新たな飼い主を募集している取り組みにおいて、譲渡対象者を枚方市内在住者から枚方市外在住者にも拡大することにより、適正な飼養者に対する譲渡の機会を増やし、犬猫の殺処分ゼロにつなげます。</p>
<p>実績</p>	<p>平成 30 年 12 月 28 日に譲渡対象者を枚方市外在住者にも拡大し、平成 31 年度末までに犬・猫合わせて 10 匹を市外在住者の適正な使用者に譲渡しました。このような譲渡の取り組みや終生飼養・適正飼養などの飼い主責任の周知啓発により、平成 28 年度から平成 31 年度まで犬猫の殺処分数ゼロを継続しています。</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>	

3. 予算編成・執行

- ◆感染症予防対策、難病対策、がん検診の推進などの取り組みについて、感染症予防事業等国庫負担（補助）金を活用し、効果的な事業の運営を図ります。

実績	感染症予防事業等国庫負担（補助）金について、新生児を先天性風しん症候群から守るための風しん予防対策事業として風しん抗体検査事業費補助金 197 万 8,000 円、新たに追加的対策として、風しん抗体保有率の低い世代の男性を対象とした緊急風しん抗体検査事業費補助金 1,621 万 5,000 円、がん検診推進事業としてがん検診推進事業費補助金 320 万 9,000 円等をそれぞれ活用し、効果的に事業を推進しました。また、難病患者地域支援対策推進事業補助金 1,210 千円を活用し、効果的に在宅療養支援事業等を推進しました。
	取り組みに対する達成状況

4. 組織運営・人材育成

- ◆高度な専門性を要する保健所業務には、専門的な知識や技術を有する職員の配置が求められます。専門能力の向上に向けて、大阪府との人事交流及び、保健師においては平成 26 年度に策定した「保健師人材育成ガイドライン」に基づき人材育成を行ってきました。今年度は、市の人材育成基本方針の改訂に合わせ、本ガイドラインも改訂することとしています。これからも、獣医師、薬剤師他を含め各種専門職の組織的・計画的な人材育成を推進します。

実績	本ガイドラインに基づき、庁内保健師連絡会の定期開催等を行い、組織横断的な保健師間連携の推進を図りました。また、保健師の専門能力向上のため、職場外研修に計画的に参加できるよう組織内の調整を行い、企画した研修の効果をはかるために、全国保健師長会の調査研究に応募、まとめの作成を行いました。人材育成関係課会議を開催し、保健師の人材育成に関する方向性を確認しながら、本ガイドラインの改訂作業にも取り組みました。
	取り組みに対する達成状況

- ◆大阪北部地震災害対応の経験を教訓に、昨年度、枚方市地域災害医療本部マニュアルを改訂しましたが、より実効性の高いものとするため、保健所内外での各種研修受講や訓練を通して、マニュアルの検証等を行うとともに、災害時医療救護・保健活動ほか、健康危機管理施策の推進のため、平時から取り組みを進めます。

実績	6 月に実施した「枚方ひこ防' z 2019」を通じて災害マニュアルを改訂し、令和 2 年 1 月に実施した災害訓練に活かすことができました。
	取り組みに対する達成状況

5. 広報・情報発信

- ◆ FMひらかたを通して市民の暮らしや健康に役立つさまざまな情報を発信するとともに、放送内容をホームページに掲載することで市民に広く周知を行います。

実績	毎週木曜日午後2時にFMひらかたを通して情報発信を行うとともに、放送内容を「ほけんしょ通信」と題して市ホームページに掲載しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆ 平成31年3月に策定した「枚方市いのち支える行動計画（自殺対策計画）」のダイジェスト版を作成し、広報ひらかたに掲載する等、社会全体で生きることの包括的な支援が行えるよう、広く市民周知に努めます。

実績	「枚方市いのち支える行動計画（自殺対策計画）」のダイジェスト版については、5,000部作成し、庁内、図書館、生涯学習センターなど市関係部署、消防署、警察、労働基準監督署、公共職業安定所、信用金庫などへの配布・配架を行いました。また、広報ひらかた、市ホームページ、FMひらかたを通して「枚方市いのち支える行動計画（自殺対策計画）」についての情報を発信し、計画について市民に周知を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	